

2019年度 3-11月期 業績概要

注意事項

- **当社は2019年度より、グループ内の機能最適化を目的とした組織変更を行い、セグメント区分の見直しを行っています。加えて、管理区分の見直しも併せて行い、仕向先の国・地域の分類を変更しています。これにより2018年度の数値は、変更後のセグメント区分および仕向け先の国・地域の分類に組み替えた上で算出しています。(P17,18参照)**
- 本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。実際の業績等に影響を与える重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。
- 本資料に記載の数値は四捨五入にて表示しており、決算短信など他資料と異なる場合がありますので、ご了承ください。

株式会社 安川電機 (TSE6506)

(対象期間：2019年3月1日～2019年11月30日)

1. 2019年度 3-11月期 連結業績

- 2019年度 3-11月期 実績
- 主要事業の概要
- 事業セグメント別売上高構成比
- 仕向先別売上高 / 売上高構成比
- 営業利益増減要因分析
- 2019年度 3Qにおける取り組み

2. 2019年度 通期 連結業績見通し

- 2019年度 通期 見通し

3. 参考資料

- セグメント変更による過年度の組替表示
- 仕向先変更による過年度の組替表示
- 設備投資,研究開発費,為替レート・感応度
- B/S構造の推移
- 連結売上高・営業利益推移
- 四半期連結売上高推移
- 四半期連結受注推移
- 主要生産拠点

セグメント別事業概要

モーションコントロール

【主要製品】

- ・ ACサーボモータ、コントローラ
- ・ リニアサーボ
- ・ インバータ など



ACサーボモータ
Σ-7シリーズ

安川インバータ
新シリーズ



GA500



マトリクス
コンバータ
U1000

GA700

ロボット

【主要製品】

- ・ 産業用ロボット
 - アーク・スポット溶接、塗装用途向け
 - FPD搬送、ハンドリング用途向け
- ・ 半導体製造装置用ロボット
- ・ バイオメディカル用途向けロボット
- ・ 人協働ロボット など



新小型ロボット
MOTOMAN-GP8



人協働ロボット
MOTOMAN-HC20DT
防じん・防滴仕様



新型7軸アーク溶接
ロボット
MOTOMAN-AR1440E

システムエンジニアリング

【主要製品】

- ・ 大型風力発電用電機品
- ・ 太陽光発電用パワーコンディショナ
- ・ 上下水道用電気計装システム
- ・ 鉄鋼プラント用電機システム など



大型風力発電用
発電機とコンバータ



連続鋳造設備



太陽光発電用
パワーコンディショナ
XGI1000 65kW



上下水道用
電気計装システム

その他

- ・ 物流サービス

など

1. 2019年度 3-11月期 連結業績

2019年度 3-11月期 実績（連結）

- 米中貿易摩擦の長期化による影響拡大により
グローバルで設備投資需要が減少し減収減益

	2019年度 3-11月期	2018年度 3-11月期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	3,098億円	3,613億円	▲515億円	▲14.3%
営業利益	168億円	416億円	▲248億円	▲59.7%
経常利益	172億円	428億円	▲256億円	▲59.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	111億円	379億円	▲268億円	▲70.7%

2019年度 3-11月期 実績 (セグメント別)

- モーションコントロール・ロボットともに減収減益
- システムエンジニアリングは新規連結影響により増収

	2019年度 3-11月期		2018年度 3-11月期		前年同期比	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
(単位：億円)						
売上高	3,098		3,613		▲515	▲14.3%
モーションコントロール	1,354		1,681		▲327	▲19.4%
ロボット	1,165		1,318		▲153	▲11.6%
システムエンジニアリング	406		359		+47	+13.1%
その他	173		256		▲83	▲32.3%
営業利益	168	5.4%	416	11.5%	▲248	▲59.7%
モーションコントロール	149	11.0%	297	17.6%	▲147	▲49.7%
ロボット	42	3.6%	136	10.3%	▲94	▲69.5%
システムエンジニアリング	▲8	▲1.9%	▲6	▲1.7%	▲2	-
その他	▲1	▲0.6%	4	1.7%	▲5	-
消去または全社	▲14	-	▲14	-	+0	-
経常利益	172	5.6%	428	11.9%	▲256	▲59.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	111	3.6%	379	10.5%	▲268	▲70.7%

主要事業の概要_モーションコントロール

売上高(億円)



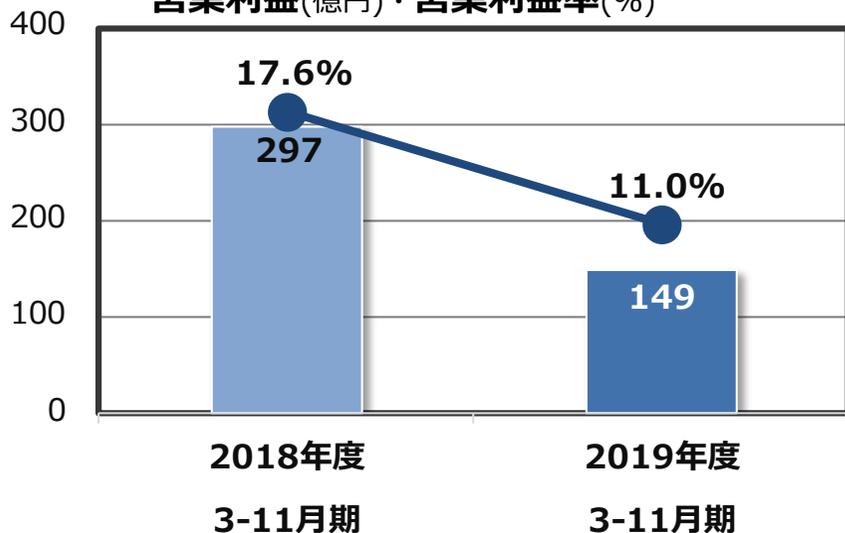
【売上高】

- ACサーボは米国で半導体関連需要に回復の兆しがみられたものの、長引く米中貿易摩擦の影響などにより中国の景気減速が強まり減収
- インバータは米国のオイル・ガス関連需要が堅調も、その他地域の設備投資需要が停滞し、売上は伸び悩む

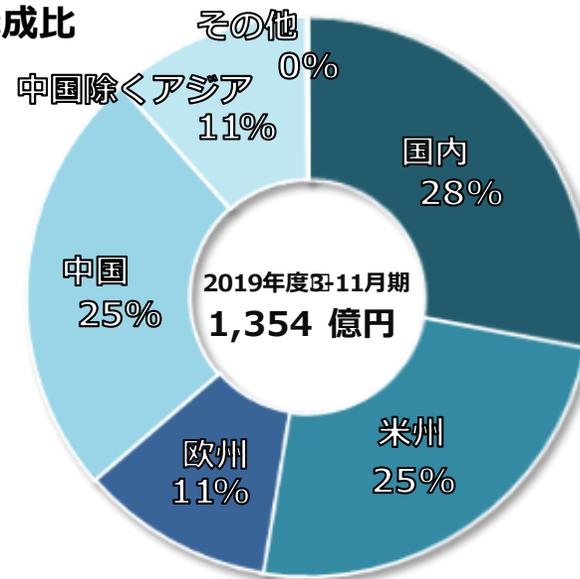
【営業利益】

- 需要低迷の影響によりACサーボを中心に売上高が減少したことに加え、操業度の悪化により営業利益は減少

営業利益(億円)・営業利益率(%)

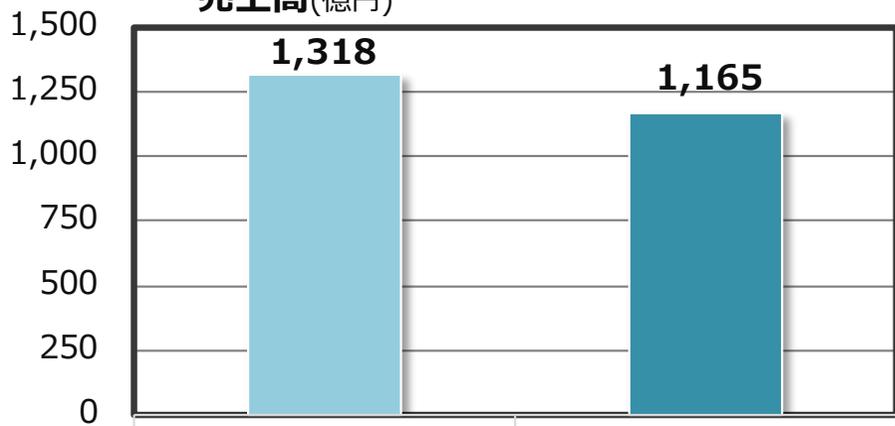


仕向先別売上高構成比



主要事業の概要_ロボット

売上高(億円)



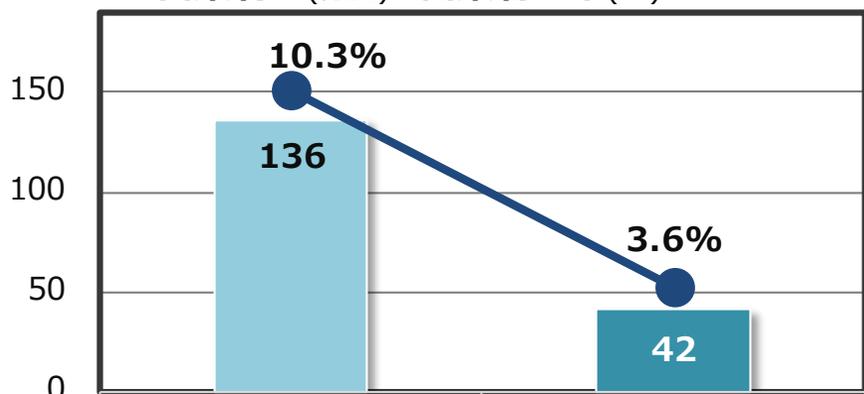
2018年度

2019年度

3-11月期

3-11月期

営業利益(億円)・営業利益率(%)



2018年度

2019年度

3-11月期

3-11月期

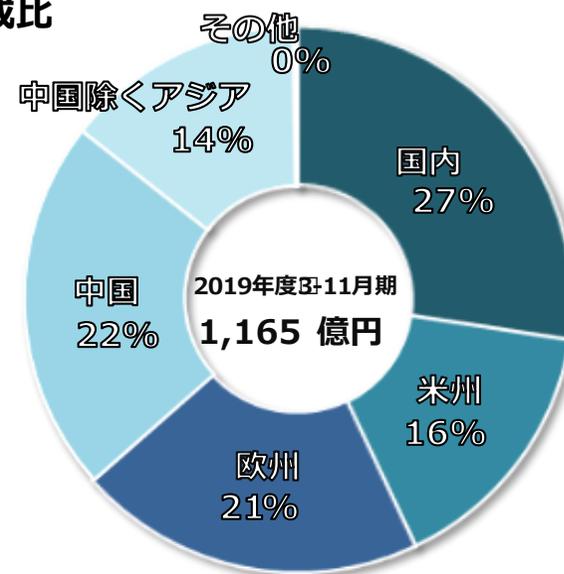
【売上高】

- 自動車関連向けの売上は、日本で堅調に推移した一方、海外では設備投資抑制の影響を受け低迷
- 一般産業分野では、米中貿易摩擦の影響を大きく受け、自動化投資は中国を中心に勢いを欠く状況が継続
- セグメント全体としては売上高が減少

【営業利益】

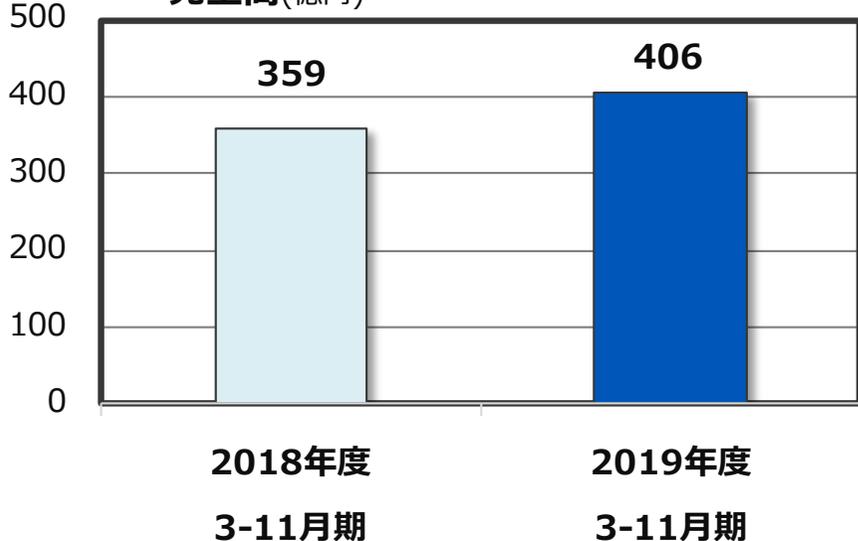
- 売上減少と在庫調整により操業度が悪化し減少

仕向先別売上高構成比



主要事業の概要_システムエンジニアリング

売上高(億円)



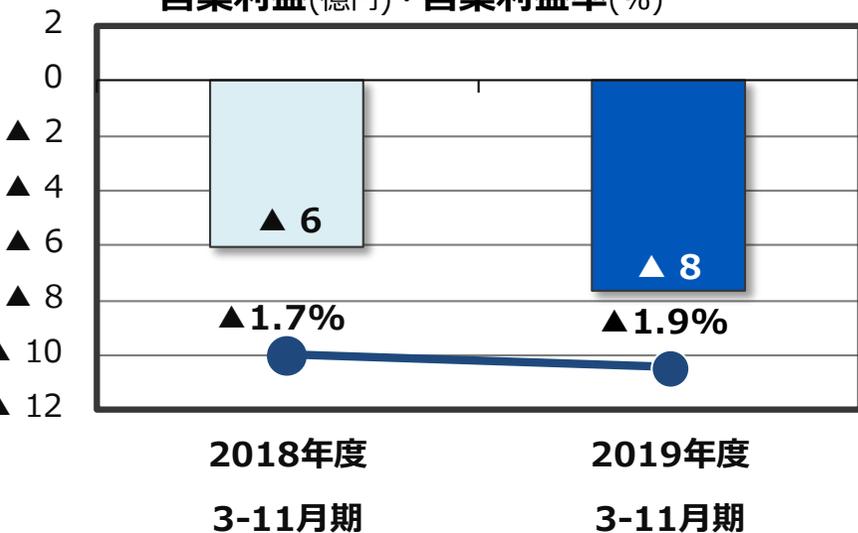
【売上高】

- 国内における鉄鋼プラント関連や上下水道用電気システム関連の売上が底堅く推移
- 一方、環境エネルギー分野(太陽光発電・大型風力発電用電機品)の売上は減少
- セグメント全体の売上高は新規連結の影響もあり伸長

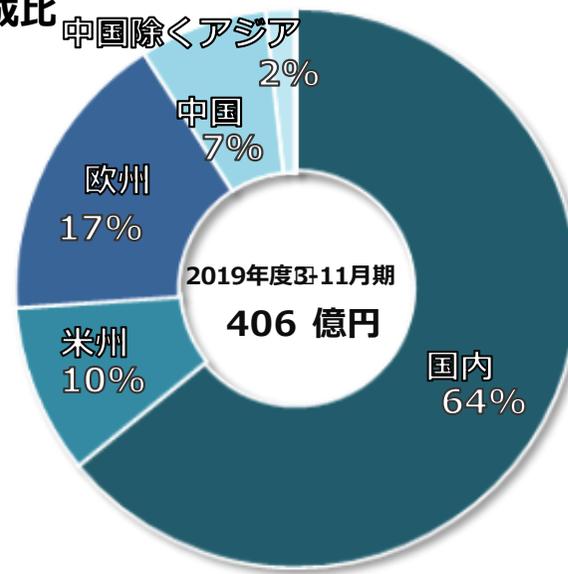
【営業損益】

- 営業損益は僅かに悪化

営業利益(億円)・営業利益率(%)

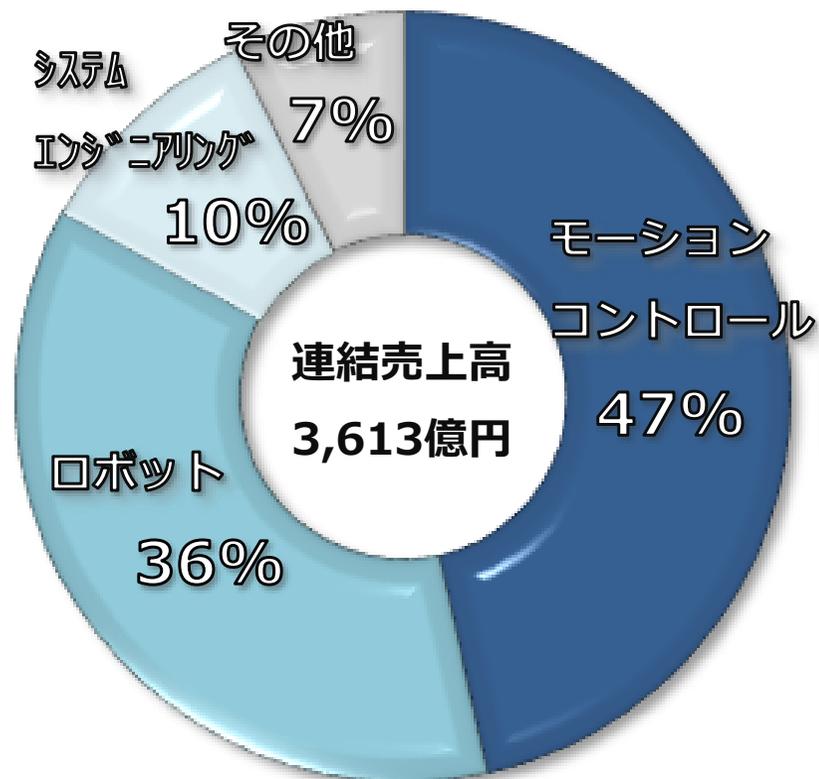


仕向先別売上高構成比

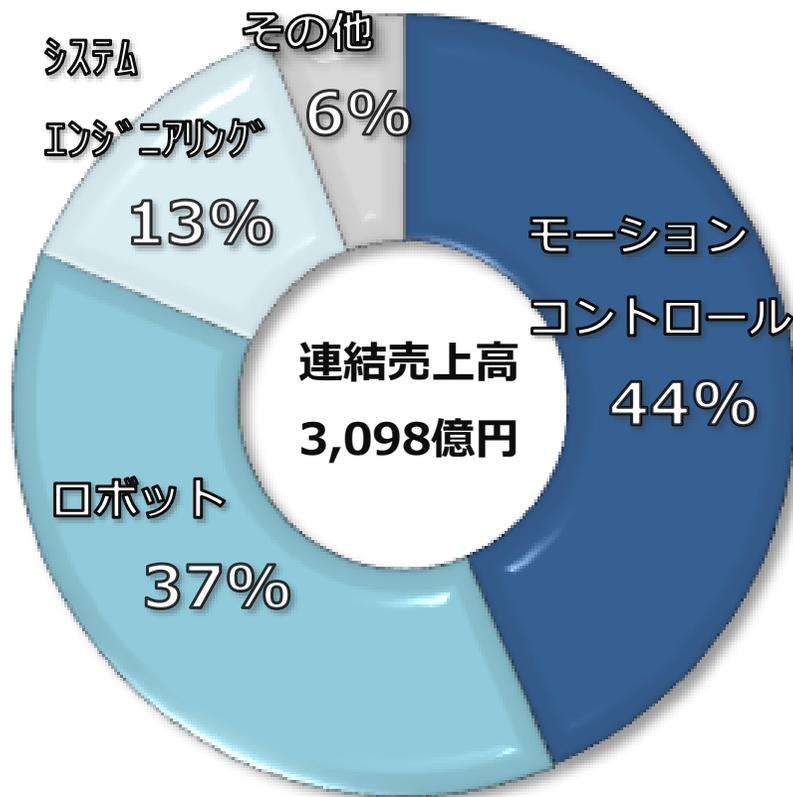


事業セグメント別売上高構成比

2018年度 3-11月期



2019年度 3-11月期



仕向先別売上高（2018年度 3-11月期 → 2019年度 3-11月期）

● 中国・アジアを中心に減収

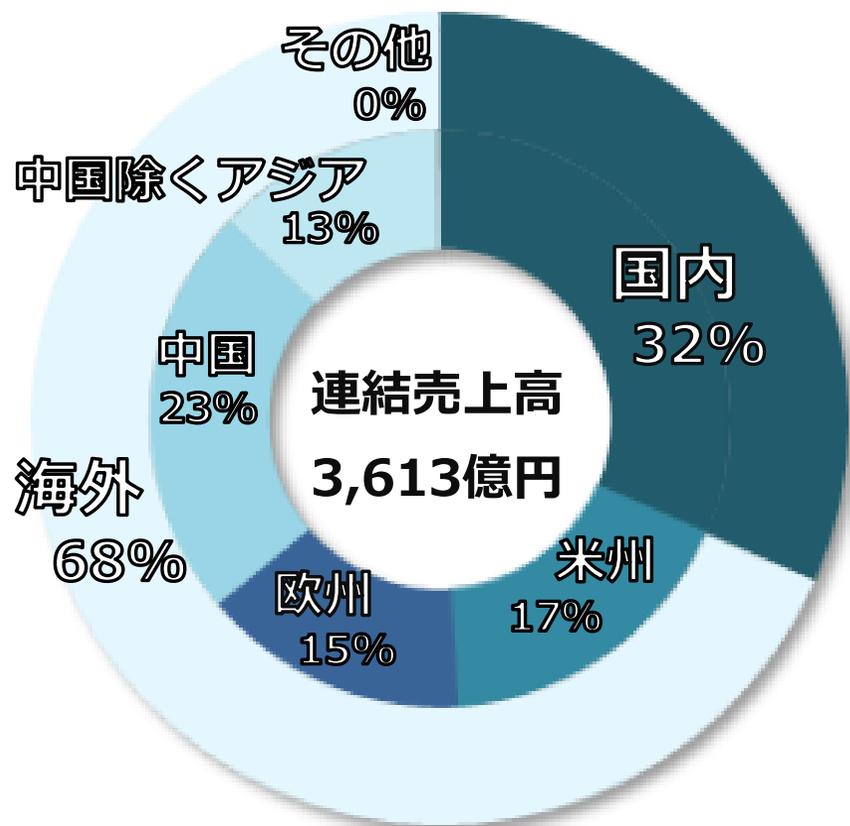
	2019年度 3-11月期	2018年度 3-11月期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	3,098	3,613	▲515	▲14.3%
国内	1,114	1,139	▲25	▲2.2%
海外	1,984	2,474	▲491	▲19.8%
米州	555	633	▲78	▲12.3%
欧州	458	538	▲79	▲14.7%
中国	640	838	▲198	▲23.6%
中国除くアジア	327	462	▲135	▲29.3%
その他	4	4	▲0	▲5.1%

[注. 1] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

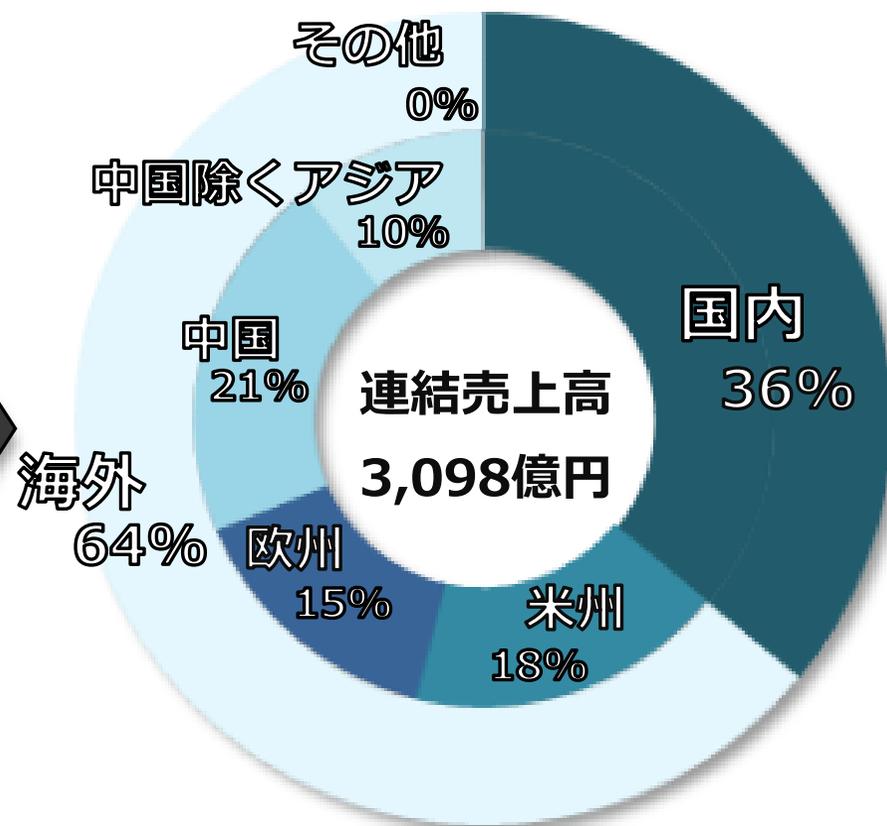
[注. 2] 2018年度3-11月期のデータは、管理区分(仕向け先の分類) 見直し後の数値を使用

仕向先別売上高構成比

2018年度 3-11月期



2019年度 3-11月期



[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

営業利益増減要因分析 (2018年度 3-11月期 → 2019年度 3-11月期)

(単位：億円)

2018年度
3-11月期

416

為替影響
▲23

売上減による
利益減

▲160

付加価値減
▲73

経費減
+8

2019年度
3-11月期
168

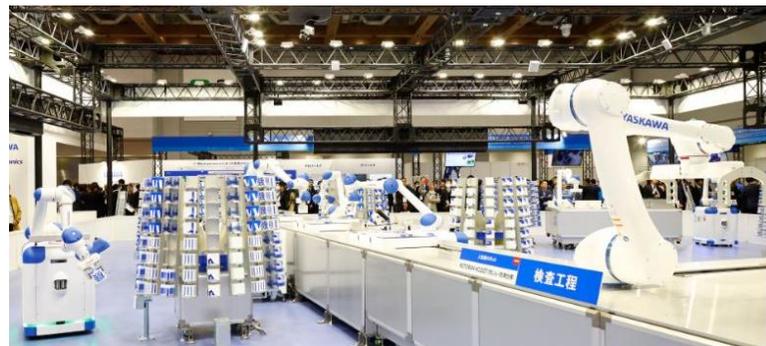
▲248

2019年度 3Qにおける取り組み

➤ “i³-Mechatronics”のビジネスモデル確立

➔ データ活用による進化した最新のものづくりを提案

- ・ IIFES展にてYRMコントローラ (仮称) による装置とロボットの同期制御を実演
- ・ 国際ロボット展にてデジタルツインとロボットの自律性・モビリティ向上による変種変量生産の自動化を提案



国際ロボット展にてデータ活用による進化したものづくりを提案

➤ “ロボティクス”ビジネス拡大を加速する新製品のラインアップ強化

➔ 自動車生産ラインの変化に対応

- ・ 溶接範囲を広げるロングアームタイプのスポット溶接ロボットを販売開始

➔ 食品生産の自動化を通じ、食の安心確保・安定供給に貢献

- ・ 防じん・防滴仕様 可搬質量20kgの人協働ロボットを販売開始
- ・ メッキ処理により塗装片混入リスクを排除した食品仕様の人協働ロボットを販売開始

➔ 3C*をはじめとする一般産業市場で拡大する幅広い自動化ニーズに対応

- ・ 小型部品の組立てや搬送などに最適なスカラロボットを販売開始

➔ 半導体市場の拡大に向けた提案力の強化

- ・ SEMICON JAPANにおいて新型半導体ウエハ搬送用ロボットを参考出展

* コンシューマ向けデジタルコミュニケーション機器(Computer, Communication, Consumer Electronicsの3語の頭文字から)



ロングアームタイプ
スポット溶接ロボット
MOTOMAN-SP225H-135



食品製造向け
MOTOMAN-HC10DTF



スカラロボット
MOTOMAN-SG400

2. 2019年度 通期 連結業績見通し

2019年度 通期見通し（連結）

● 中間決算発表時(2019/10/10発表)の通期見通しを据え置く

	2019年度	2018年度	前年度比	
	予想	実績	増減額	増減率
売上高	4,200億円	4,746億円	▲547億円	▲11.5%
営業利益	250億円	498億円	▲248億円	▲49.8%
経常利益	260億円	508億円	▲248億円	▲48.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	190億円	412億円	▲222億円	▲53.8%

3. 参考資料

セグメント変更による過年度の組替表示（2018年度実績）

- 2019年度より、従来システムエンジニアリングに含めていた、安川モートル社のPMモータ事業などをモーションコントロールに移すなど、セグメント区分を変更

	2018年度（セグメント変更後）							変更 影響額 (通期)	
	(単位：億円)	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期		通期
売上高		1,282	1,200	2,482	1,131	1,133	2,264	4,746	-
モーションコントロール		618	560	1,178	503	452	955	2,133	+78
ロボット		439	443	882	436	462	898	1,780	-
システムエンジニアリング		119	115	235	124	158	282	516	▲78
その他		106	82	188	68	62	130	318	-
営業利益		172	133	305	111	81	193	498	-
モーションコントロール		124	99	224	73	46	119	342	+3
ロボット		50	42	92	44	37	81	173	-
システムエンジニアリング		▲4	▲3	▲7	1	3	4	▲3	▲3
その他		6	▲0	6	▲1	0	▲1	4	-
消去または全社		▲5	▲5	▲10	▲4	▲5	▲9	▲20	-

仕向先変更による過年度の組替表示（2018年度実績）

- 2019年度より、管理区分の見直しを行い、仕向先の国・地域の分類を変更
- 「その他」に含めていた中近東およびアフリカの実績を「欧州」に移行する
- 「中国除くアジア」に含めていた香港の実績を「中国」に移行する

	2018年度（仕向先変更後）							変更 影響額 (通期)	
	(単位：億円)	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期		通期
売上高		1,282	1,200	2,482	1,131	1,133	2,264	4,746	-
国内		402	384	786	353	406	760	1,545	-
海外		880	816	1,697	778	727	1,504	3,201	-
米州		198	212	410	223	216	439	849	-
欧州		172	170	343	195	167	361	704	+39
中国		342	266	608	230	197	426	1,034	+32
中国除くアジア		165	167	333	129	147	277	609	▲32
その他		2	1	3	1	1	1	4	▲39

設備投資・研究開発費の状況/為替レート/感応度

設備投資・研究開発費の状況

(単位：億円)

	2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	2019年度 (計画)
設備投資額	196.9	356.5	200.0
減価償却費	126.9	143.1	150.0
研究開発投資	190.7	207.9	210.0

為替レート

※ 為替レートは、期中平均レートを記載

(単位：円)

	2017年度 (実績)				2018年度 (実績)				2019年度 (想定)			
	4-12	4Q	下期	通期	3-11	4Q	下期	通期	3-11(実績)	4Q	下期	通期
対 米ドル	111.7	110.7	111.5	111.5	110.4	110.6	111.7	110.5	108.9	105.0	106.6	107.9
対 ユーロ	127.1	134.2	133.3	128.8	129.8	125.9	127.8	128.9	121.5	120.0	119.7	121.1
対 元	16.56	17.16	17.08	16.71	16.65	16.25	16.28	16.56	15.71	15.00	15.14	15.53
対 ウォン	0.099	0.103	0.101	0.100	0.100	0.099	0.099	0.100	0.093	0.090	0.091	0.092

為替感応度

(単位：億円)

	1%変動による影響額 (2019年度_通期)	
	売上高	営業利益
米ドル	約 8.2	約 1.5
ユーロ	約 6.4	約 1.3
元	約 8.1	約 1.8
ウォン	約 2.1	約 1.2

B/S構造の推移

2019年2月28日時点

- 自己資本比率 54.1%
- 自己資本 2,467億円
- 有利子負債 487億円
- D/Eレシオ 0.20
(ネットD/Eレシオ) 0.04
- 棚卸資産 1,115億円
(回転月数) (2.8ヶ月)
- ROE 17.1%
- ROIC 17.2%

2019年11月30日時点

- 自己資本比率 50.5%
- 自己資本 2,289億円
- 有利子負債 831億円
- D/Eレシオ 0.36
(ネットD/Eレシオ) 0.17
- 棚卸資産 1,065億円
(回転月数) (3.1ヶ月)

※ 有利子負債はリース債務を含む
 ※ 棚卸資産回転月数の計算には棚卸資産の期末値を使用
 ※ ROE = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ ((前期末自己資本 + 当期末自己資本) ÷ 2)
 ※ ROIC = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 投下資本

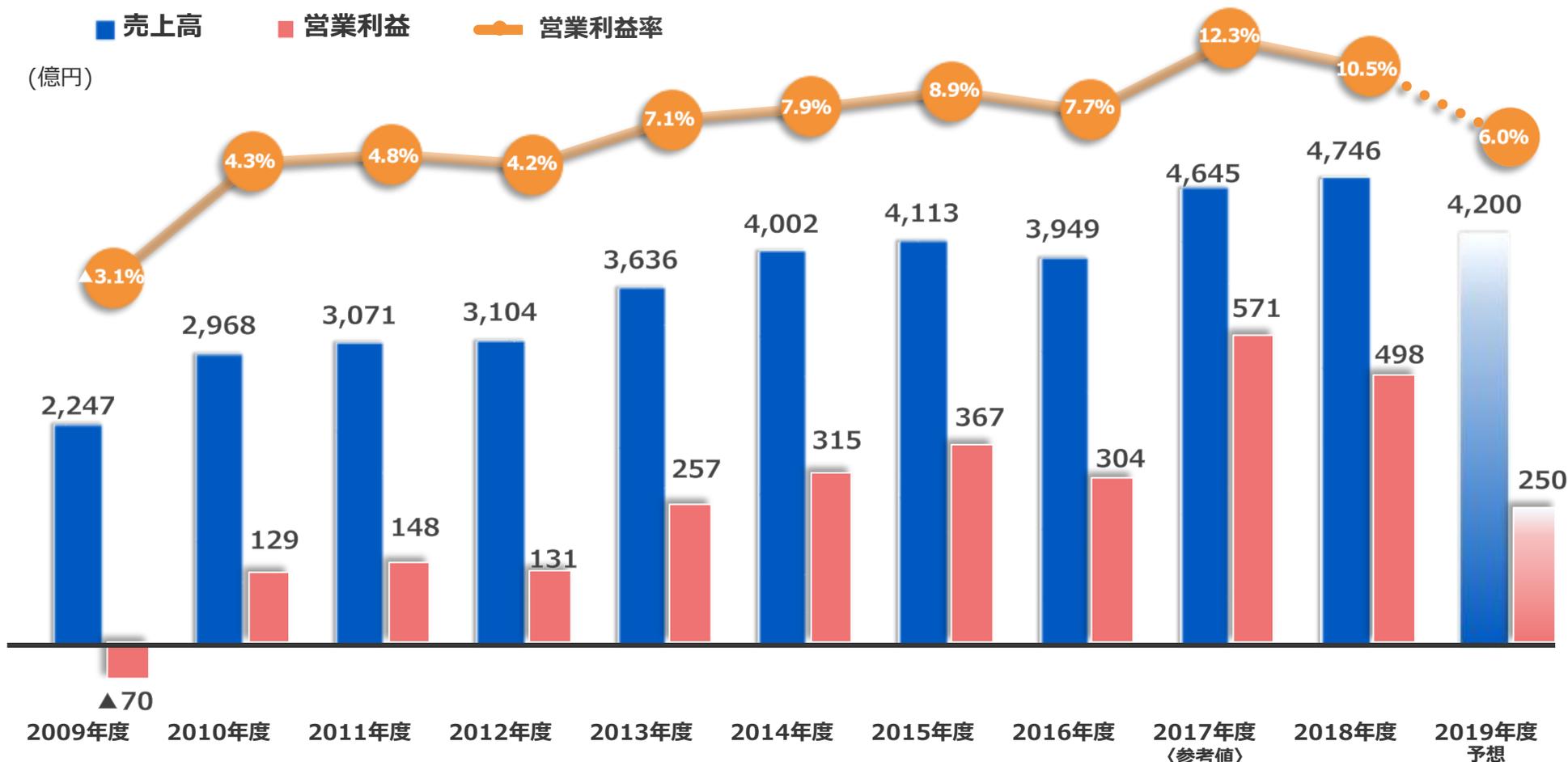
(億円)



(億円)

	2010年3月	2011年3月	2012年3月	2013年3月	2014年3月	2015年3月	2016年3月	2017年3月	2018年2月	2019年2月	2019年8月
営業CF	40	25	64	246	240	290	320	338	461	328	69
投資CF	▲ 65	▲ 67	▲ 119	▲ 181	▲ 169	▲ 279	▲ 224	▲ 189	▲ 189	▲ 271	▲ 105
フリーCF	▲ 24	▲ 43	▲ 55	66	70	11	95	148	272	57	▲ 36

連結売上高・営業利益推移（2009年度～2019年度予想）



Challenge 100

Realize 100

Dash 25

Challenge 25

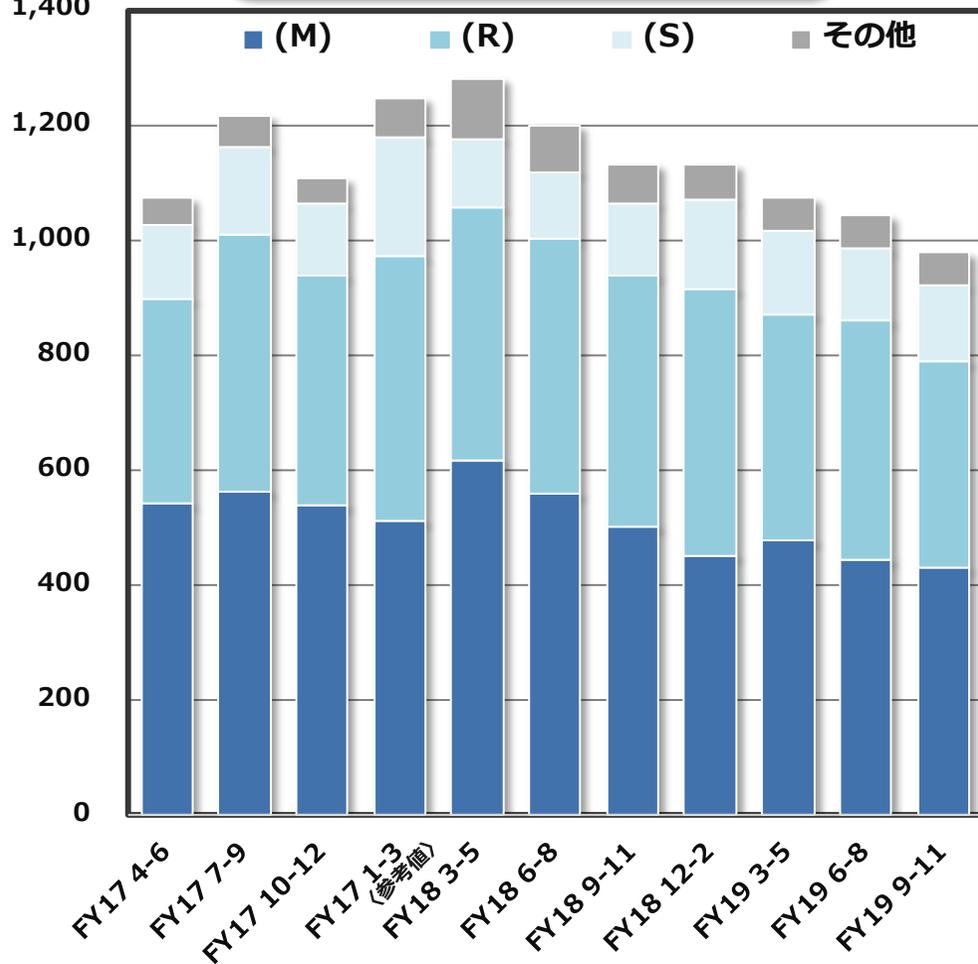
中期経営計画

[注] 2017年度通期実績は、対象期間を2017年3月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

四半期連結売上高推移

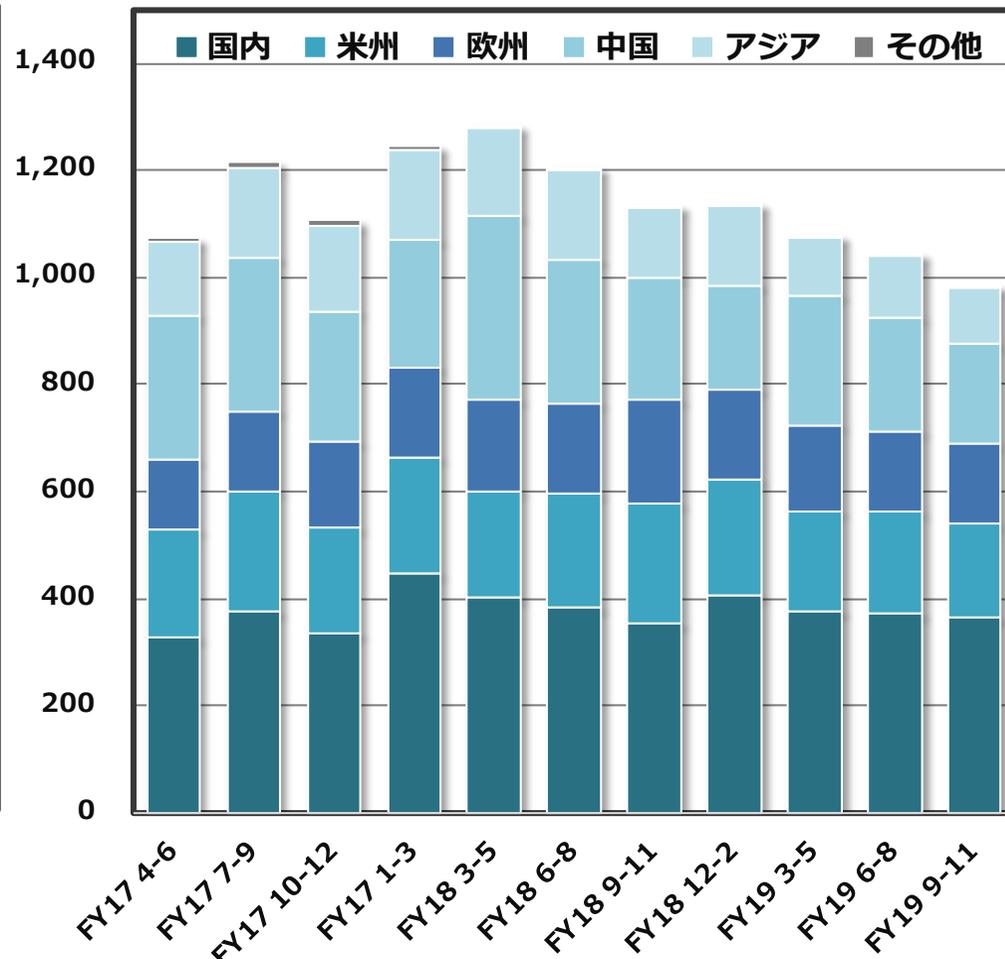
セグメント別

(億円)



仕向先別

(億円)



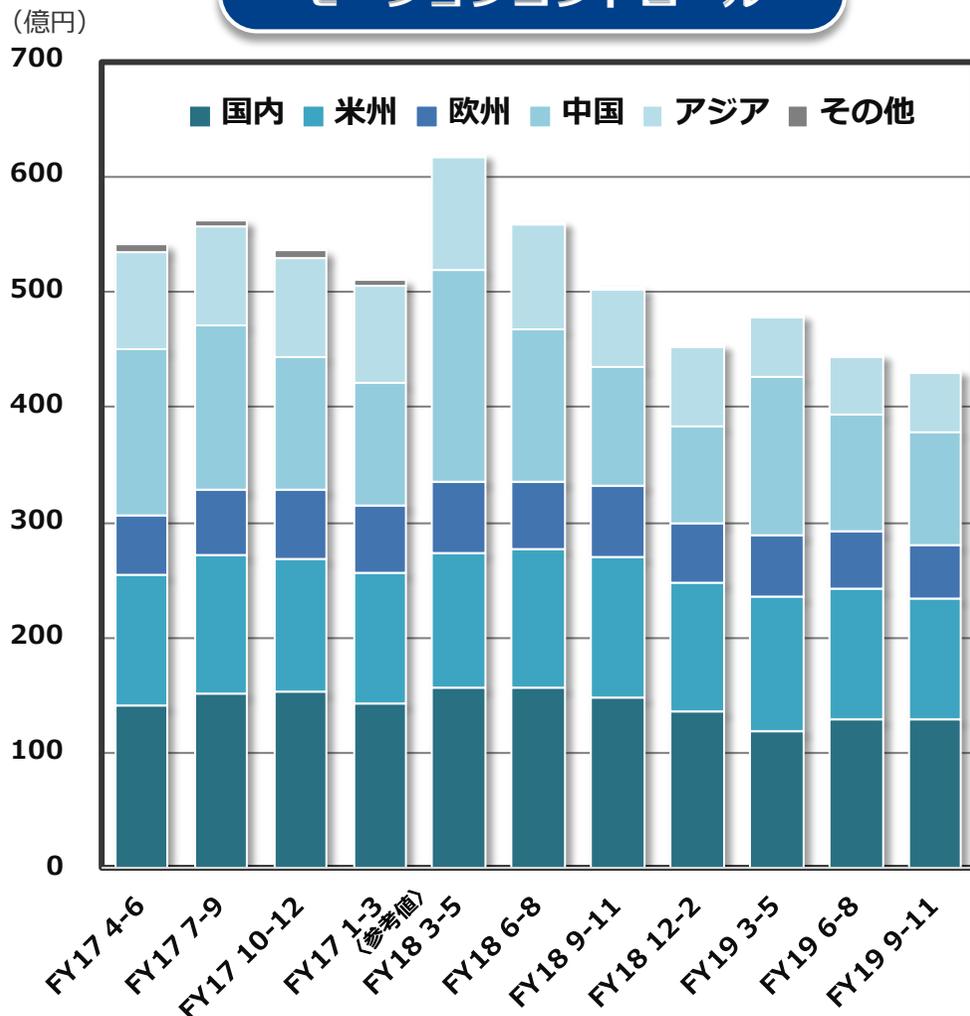
[注. 1] FY17 1-3のデータは、対象期間を2017年12月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

[注. 2] FY17のデータは、セグメント区分および管理区分(仕向先の分類) 見直し前の数値を使用

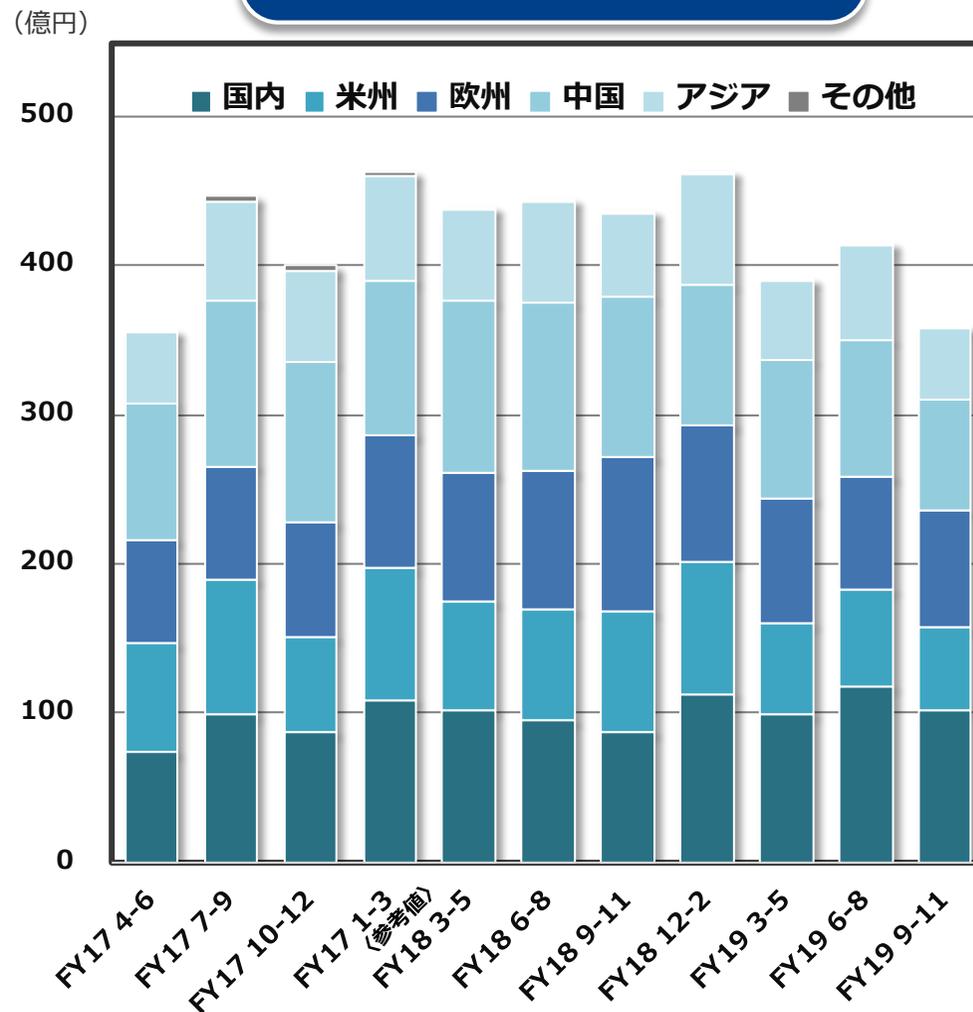
[注. 3] 表記：(M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

四半期連結売上高推移

モーションコントロール



ロボット

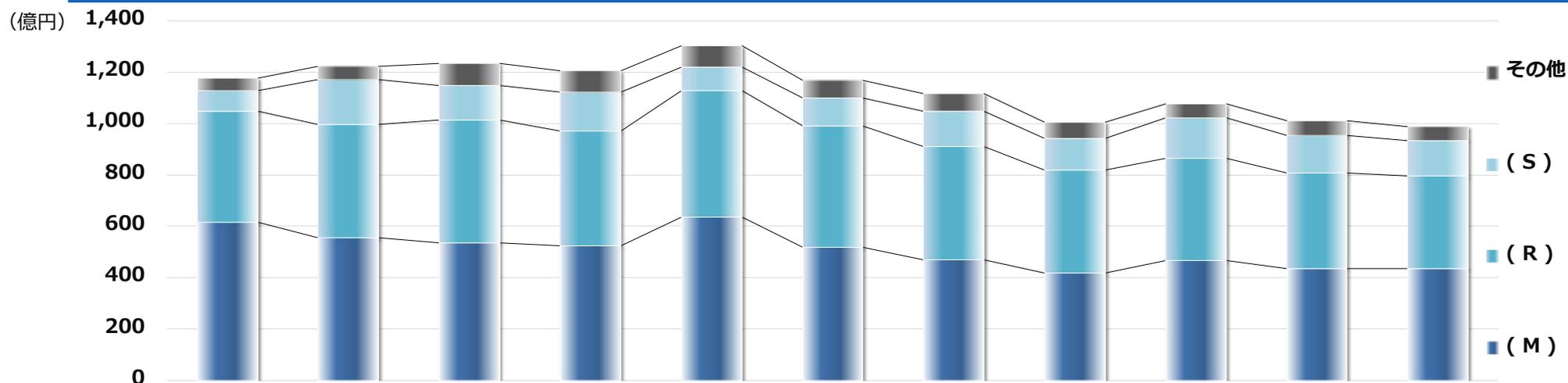


[注. 1] FY17 1-3のデータは、対象期間を2017年12月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

[注. 2] FY17のデータは、セグメント区分および管理区分(仕向先の分類) 見直し前の数値を使用

四半期連結受注推移（セグメント別）

※為替は期中平均レートを使用



		FY2017				FY2018				FY2019		
		4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期 〈参考値〉	3-5月期	6-8月期	9-11月期	12-2月期	3-5月期	6-8月期	9-11月期
全社	YoY	+8%	+29%	+18%	+16%	+10%	▲4%	▲9%	▲17%	▲17%	▲13%	▲11%
	QoQ	+13%	+4%	+1%	▲2%	+8%	▲10%	▲4%	▲10%	+7%	▲6%	▲2%
YoY	(M)	+39%	+31%	+17%	+5%	+3%	▲7%	▲12%	▲20%	▲26%	▲16%	▲8%
	(R)	+14%	+31%	+25%	+24%	+15%	+7%	▲8%	▲10%	▲19%	▲22%	▲17%
	(S)	▲59%	+33%	▲10%	+24%	+14%	▲37%	+4%	▲17%	+70%	+34%	▲2%
QoQ	(M)	+23%	▲10%	▲3%	▲2%	+21%	▲19%	▲9%	▲11%	+12%	▲7%	▲0%
	(R)	+19%	+2%	+8%	▲6%	+11%	▲4%	▲7%	▲9%	▲0%	▲7%	▲2%
	(S)	▲33%	+118%	▲23%	+11%	▲39%	+20%	+27%	▲11%	+26%	▲6%	▲8%
為替 レート	円/ドル	111.9	111.1	112.2	110.7	107.8	110.8	112.7	110.6	111.0	107.6	108.2
	円/ユーロ	120.9	127.9	132.4	134.2	130.9	128.9	129.6	125.9	124.7	120.6	119.3

[注.1] 表記：(M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

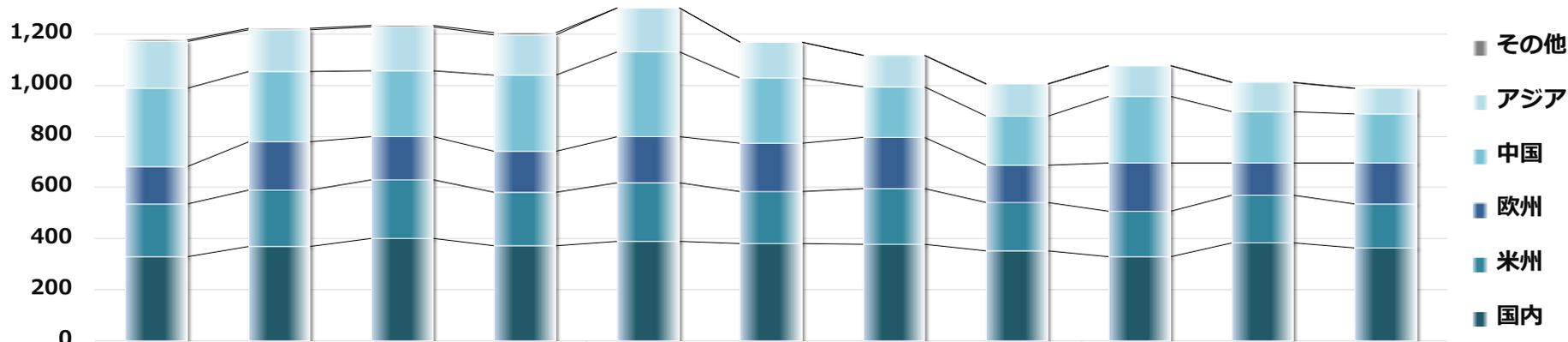
[注.2] FY2017 1-3月期のデータは、対象期間を2017年12月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

[注.3] FY2017のデータは、セグメント区分および管理区分(仕向先の分類) 見直し前の数値を使用

四半期連結受注推移（仕向先別）

※為替は期中平均レートを使用

(億円) 1,400



		FY2017				FY2018				FY2019		
		4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期 (参考値)	3-5月期	6-8月期	9-11月期	12-2月期	3-5月期	6-8月期	9-11月期
全社	YoY	+8%	+29%	+18%	+16%	+10%	▲4%	▲9%	▲17%	▲17%	▲13%	▲11%
	QoQ	+13%	+4%	+1%	▲2%	+8%	▲10%	▲4%	▲10%	+7%	▲6%	▲2%
YoY	国内	▲15%	+23%	+18%	+12%	+18%	+4%	▲6%	▲6%	▲15%	+1%	▲4%
	米州	+15%	+9%	+17%	+0%	+11%	▲10%	▲5%	▲10%	▲23%	▲8%	▲21%
	欧州	+2%	+73%	▲0%	+25%	+16%	▲6%	+11%	▲15%	+6%	▲33%	▲19%
	中国	+36%	+34%	+38%	+47%	+8%	▲8%	▲23%	▲35%	▲22%	▲21%	▲3%
	アジア	+27%	+40%	+20%	+1%	▲6%	▲13%	▲28%	▲21%	▲30%	▲19%	▲18%
QoQ	国内	▲1%	+12%	+9%	▲7%	+4%	▲2%	▲1%	▲7%	▲7%	+17%	▲6%
	米州	▲1%	+8%	+2%	▲8%	+10%	▲12%	+8%	▲14%	▲6%	+5%	▲8%
	欧州	+13%	+30%	▲9%	▲6%	+5%	+5%	+8%	▲28%	+30%	▲34%	+27%
	中国	+53%	▲11%	▲6%	+15%	+12%	▲24%	▲21%	▲4%	+35%	▲23%	▲3%
	アジア	+15%	▲10%	+5%	▲7%	+7%	▲17%	▲13%	+3%	▲5%	▲4%	▲12%

[注.1] FY2017 1-3月期のデータは、対象期間を2017年12月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

[注.2] FY2017のデータは、セグメント区分および管理区分(仕向先の分類) 見直し前の数値を使用

主要生産拠点



YASKAWA